

重点項目についての環境配慮概要					内訳対応項目					
各項目について配慮した内容を、該当する番号(①～)を示し記述してください。										
“ストップ温暖化しずおか行動計画”の推進(Gloval Warming)										
	■室内環境対策 (①室温制御/②昼光対策/③グレア対策)/④部品・部材の耐用年数 ①日射遮蔽性能及び断熱性能に問題がない。 ③ブラインドによりグレアを制御。 ④外壁仕上材:補修必要間隔10年以上～20年未満。 主要内装仕上材:更新必要間隔10年。 配管・配線材:更新必要間隔15年。 主要設備機器:更新必要間隔15年。				Q-1	2	2.1	2.1.3	①	外皮性能
					Q-1	3	3.1	3.1.3	②	昼光利用設備
							3.2	3.2.2	③	昼光制御
					Q-2	2	2.2	2.2.1	④	外壁仕上材の補修必要間隔
							2.2.2		④	主要内装仕上材の更新必要間隔
							2.2.3		④	配管・配線材の更新必要間隔
							2.2.4		④	主要設備機器の更新必要間隔
	■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑥敷地内温熱環境の向上) ⑤植栽条件に応じた適切な緑地づくりを行なっている。⑥風通しを考慮した計画とした。				Q-3	1			⑤	生物環境保全と創出
						3	3.2		⑥	敷地内温熱環境の向上
	■エネルギー対策 (⑦建物の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率的運用) ⑦省エネルギー等級4。 ⑨25%≤ERR ⑩エネルギー消費量を年間に渡って把握。				LR-1	1			⑦	建物の熱負荷抑制
						2	2.1		⑧	自然エネルギー直接利用
							2.2		⑧	自然エネルギー変換利用
						3			⑨	設備システムの高効率化
						4	4.1		⑩	モニタリング
							4.2		⑩	運用管理体制
	■資源・マテリアル対策 (⑪水資源保護/⑫低環境負荷材) ⑪節水型器具採用。 ⑫部材の再利用可能性:躯体と仕上材が容易に分別可能。 消化剤:クリティカルユースのみ使用。 断熱材:ODP=0～0.01未満の断熱材発泡剤を使用。 冷媒:ODP=0の冷媒を使用。				LR-2	1	1.1		⑪	節水
							1.2	1.2.1	⑪	雨水利用システム
								1.2.2	⑪	雑排水利用システム
					2	2.1	2.1.1	⑫	躯体材料の再利用効率	
							2.1.2	⑫	非構造材料の再利用効率	
							2.2		⑫	持続可能な森林から産出された木材
							2.3		⑫	有害物質を含まない材料
							2.4		⑫	既存建築躯体などの再利用
							2.5		⑫	部材の再利用可能性
						2.6	2.6.1	⑫	消火剤	
							2.6.2		⑫	断熱材
							2.6.3		⑫	冷媒
	■敷地外環境対策 (⑬温熱環境悪化の改善)				LR-3	5			⑬	温熱環境悪化の改善
	“災害に強いしずおか”の形成(Disaster)									
		■サービス性能対策 (⑭耐震・免震/⑮信頼性) ⑭地域係数Z=1.2、用途係数I=1.25 ⑮給排水・衛生設備:節水型器具採用。井水の利用あり。 電気設備:電源設備・精密機械に浸水の恐れがない。 機械・配管支持方法:耐震クラスB。 通信・情報設備:精密機械に浸水の危険性がない。				Q-2	2	2.1	2.1.1	⑭
							2.1.2	⑭	免震・制振性能	
						2.4	2.4.1	⑮	空調・換気設備	
							2.4.2	⑮	給排水・衛生設備	
							2.4.3	⑮	電気設備	
							2.4.4	⑮	機械・配管支持方法	
							2.4.5	⑮	通信・情報設備	
“しずおかユニバーサルデザイン”の推進(Universal Design)										
	■サービス性能対策 (⑯機能性・使いやすさ/⑰心理性・快適性/⑱空間のゆとり) ⑯階高のゆとり:3.7m以上、3.9m未満。 空間の形状・自由さ:0.1≤壁長さ比率<0.3 ■室外環境(敷地内)対策 (⑲地域性・アメニティへの配慮 ⑲敷地周囲に見通しの良いフェンスを設けている。				Q-2	1	1.1	1.1.3	⑯⑰	ユニバーサルデザイン計画
						3	3.1	3.1.1	⑯	階高のゆとり
								3.1.2	⑯	空間の形状・自由さ
					Q-3	3	3.1		⑲	地域性への配慮、快適性の向上
“緑化及び自然景観”の保全・回復(Nature)										
	■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑳まちなみ・景観への配慮/㉑敷地内温熱環境の向上) ⑤植栽条件に応じた適切な緑地づくりを行なっている。 ⑥風通しを考慮した計画とした。				Q-3	1			⑤	生物環境保全と創出
						2			㉑	まちなみ景観への配慮
						3	3.2		⑥	敷地内温熱環境の向上
	■敷地外環境対策 (⑬温熱環境悪化の改善)				LR-3	5			⑬	温熱環境悪化の改善